

荒牧神社の由来

源平盛衰記に「源義經は上州荒牧という所にて云々」云々あり。社は伊勢宮（神明宮）と称し云々とあり。荒牧には平安時代から神社が存在し、宝暦年間（1761-1770）に建て替えた。

明治初期の神社調査書によると八幡宮と神明宮等があり、諏訪神社の境内には末社として秋葉社、八坂社、赤城社、八幡社、水神社、雷電社、菅原社、愛宕社が祀られていた。

明治四十年、政府は「神社合併令」を出し、一村一社を奨励した。村民は許可を得て神明宮境内に八幡宮と諏訪神社（末社）八社を含むを合祀して、村社荒牧神社とした。

平成九年十二月吉日

荒牧神社運営委員会建之